

# 山陽小野田市食育推進会議議事録

会議の種類	令和3年度第1回山陽小野田市食育推進会議		
日時	令和3年6月29日(火) 15:00～16:40		
場所	高千帆公民館2階		
出席者	市 民 代 表	磯 部 美 幸	( 委 員 )
	市 民 代 表	井 本 和 幸	( 委 員 )
	小 野 田 飲 料 店 組 合	窪 井 紀 彰	( 委 員 )
	山 陽 小 野 田 市 保 育 協 会	島 田 佳 奈	( 委 員 )
	山陽小野田市母子保健推進協議会	高 木 理 代	( 委 員 )
	山陽小野田市立山口東京理科大学	立 花 研	( 委 員 )
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半 矢 幸 子	(副会長)
	山 口 県 漁 業 協 同 組 合	久 中 幸 子	( 委 員 )
	山 陽 小 野 田 市 教 育 研 究 会	増 田 和 美	( 委 員 )
	小野田南高泊干拓農業協同組合	松 村 孝 子	( 委 員 )
	宇部フロンティア大学短期大学部	山 下 晋 平	( 会 長 )
	(出席者数 11人)		
欠席者	山 口 県 販 売 協 力 店 連 携 協 議 会	大 谷 浩 彦	( 委 員 )
	山陽小野田市地球温暖化対策地域協議会	内 藤 美 恵 子	( 委 員 )
	山 口 県 立 厚 狭 高 等 学 校	森 祐 子	( 委 員 )
	山 口 県 私 立 幼 稚 園 連 盟	渡 邊 和 憲	( 委 員 )
	(欠席者数 4人)		
オブザーバー (欠席)	山 口 県 宇 部 健 康 福 祉 セ ン タ ー	岡 村 恵 美 子	
事務局	山 陽 小 野 田 市 長 藤 田 剛 二	福 祉 部 長	兼 本 裕 子
	福 祉 部 次 長 尾 山 貴 子	補 佐 兼 健 康 増 進 係 長	大 海 弘 美
	健 康 増 進 係 長 (食育) 加 藤 諭 香 江	健 康 増 進 課 技 師	内 田 直 子
食育推進庁内 連絡会	環 境 課 長 梅 田 智 幸	高 齢 福 祉 課 長	麻 野 秀 明
	子 育 て 支 援 課 長 長 井 由 美 子	学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	山 本 修 一

	<p>1 辞令交付</p> <p>2 山陽小野田市長あいさつ</p> <p>3 委員、職員紹介</p> <p>4 会長、副会長の選出</p> <p>賛成多数で、会長に山下晋平委員、副会長に半矢幸子委員が選出された。</p> <p>5 議事</p> <p>(1) 令和3年度山陽小野田市食育推進計画について</p> <p>本日欠席のオブザーバー(山口県宇部健康福祉センター 岡村恵美子様)より</p> <p>食育の推進については食育基本法に基づき、このたび国では5年に1度の改定に伴い、第4次食育基本計画が発表された。重点事項、食育の推進、目標等を共有頂き、国や県の動向やコロナ禍における食育の推進について資料をまとめているので参考にさせていただきたい。</p> <p>(資料1事務局から説明)</p>
会 長	<p>事務局より今年度の事業について抜粋しての説明があった。資料1「3地域における食育の推進」の中で説明のあった朝食レシピコンテスト、手作り弁当コンテストについては、市民が食への関心を高める食育の一環として、食事バランス、調理体験、朝食摂取、地産地消といった多くの効果が得られるのではないかと思う。この事業について御意見はあるか。</p>
事 務 局 (欠席委員)	<p>本日、欠席委員より事前に意見を頂いているので、紹介したい。</p> <p>昨年同様、夏休みの課題として取り組みたいと考えている。保護者と一緒に食について考える機会にもなっているので、良い取り組みであると思う。</p>
(欠席委員)	<p>他市では、企業との連携した取り組みを実施しており、企業からも審査員を出して「企業賞」のように商品を提供している。また、優秀賞のレシピを店舗で配布するといった形で連携することも可能である。</p> <p>との御意見をいただいている。</p>
会 長 委 員	<p>その他、御出席の委員から御意見はないか。</p> <p>昨年度、手作り弁当コンテストの審査員として参加した。応募作品はとても良く考えられており、親子の会話にもつながるいい取り組みだと思った。この取り組みを生かした企画ができないかと商工会議所と協議し、最優秀賞のお弁当をプロの手で再現して食べるイベントを企画したが、コロナの影響で中止となった。今後もこのような取り組みを活かし、子どもたちの興味にもつながるような企画を考えていきたい。</p>
委 員	<p>朝食レシピコンテストについて、実際に保護者から朝食は簡単なもので済ませて、野菜を食べることがないという声もある。園でも朝食について啓発は行っている。このような取り組みがあると朝食について考える機会になって良い。</p>
事 務 局	<p>コンテストの第1次審査では、関係機関の皆様へ審査の協力を依頼する予定。御協力をお願いしたい。</p>

会 委	長 員	資料1の「1家庭における食育の推進」について御意見はあるか。 子どもの食育については、妊娠期からすでに始まっていると感じており、マタニティひろばや育児学級等は有効であると思う。コロナ禍で中止を余儀なくされたこともあり、どのように発信するのかが課題である。
会 連絡会委員	長	食育推進庁内連絡会の委員からも御意見をいただきたい。 もぐもぐはかせ教室、ミニしょくいくはかせ教室については、昨年度は残念ながらほとんどが中止となったが、今年度は定員を減らしての開催、飛沫防止シールドの設置等、感染対策をとりながらの実施を予定している。今後も幼少期の食育の機会を作りたい。
会 委	長 員	幼少期からの調理経験は、その後の食習慣や食への興味に大きな影響を与えるものであると感じる。保育園の立場としてはどうか。 園では、野菜を育て、食べる等の体験を通じた食育を実践している。市の食育事業も紹介していきたい。
事 務 局 (欠席委員)		欠席委員より事前に意見をいただいているので、紹介したい。 最近、ファストフードの親子での利用が増えている印象がある。現状として、以前よりも心身に不調のある子どもが増えてきている。食環境の変化による次世代の子どもたちへの影響もあるのではと感じる。園では様々な取り組みを行っているが、家庭への食育も重要と感じている。 との御意見をいただいている。
委 員		市内の中学校の家庭科授業のボランティアに行った際に、子どもたちが食に関する基本的なことを親から教わっていないと感じた。家庭の基本は親であり、子どもに食育をするために、まず親に対する基本の料理教室を行ってはどうか。
事 務 局		保護者を対象とした教室については以前から検討をしているが、忙しい子育て世代がいかにか教室に参加してもらうかが課題。市では親子を対象とした、ねたろう食育博士養成講座などの開催や、食生活改善推進協議会が行う地域の料理教室等も紹介しており、様々な形で調理の体験や情報提供ができるよう今後も検討していきたい。
会 委	長 員	高齢者の低栄養やフレイルといった食課題も最近よく耳にする。高齢者が対象の事業についてはどうか。 各校区でねんりんカフェを実施している。コロナの影響で、高齢者が家に閉じこもりがちになって、食欲も出ないという現状があり、高齢者の居場所作りをしながら食生活についての啓発の場としている。
会 連絡会委員	長	食育推進庁内連絡会の委員からも御意見をいただきたい。 介護予防に資する取り組みを行っており、食に関するものでは住民運営通いの場で口腔機能の維持・改善のため「かみかみ百歳体操」を実施している。また、介護予防応援隊の事業では管理栄養士を講師とし、低栄養等について学んでもらっている。今後も地域での食やフレイル対策に取り組んでいきたいと思う。
会	長	資料1の「2学校、保育園における食育の推進」について御意見はあるか。

事務局 (欠席委員)	<p>本日、欠席委員より事前に意見をいただいているので、紹介したい。</p> <p>高校生が主体的な取り組みを行って行く上で、学内から地域へとつながっていくことで学びも広がっていく。学校ではない食育の意識づけとなる。地域の食に関連した人材を把握し、御紹介いただくような仕組みがあるとよいと思う。</p> <p>との御意見をいただいている。</p>
委員	<p>山口県は三方海に囲まれて、海産資源が豊富である。幼稚園などで「命をいただくプロジェクト」として、子どもたちの前で生きた魚を捌き、鮮度の良さと、食べるためには魚の命を奪うこと、この表裏一体の状態を子どもに体験してもらっている。親子の料理教室や学校での指導の際にも、命を頂くという掘り下げた内容にすれば、インパクトもあり、「食べ残してはいけない」という意識も出てくるのではないか。</p>
会長 委員	<p>学校現場の立場としてはどうか。</p> <p>学校でも命を頂く等については道徳や人権の授業でも取り組んでいる。環境問題ではSDGsでも盛んに言われているが、授業などで食べ残しについて考える機会を持ったり、孤食についても家庭や地域の方と連携を取りながら取り組みを行っている。児童生徒にも食育の機会が持てるよう今後も委員の皆さんと連携を図りながら進めていきたい。</p>
会長 委員	<p>国の第4次食育推進基本計画からも、栄養教諭の役割が重要だと認識しているが、現状ではどうか。</p> <p>自校に栄養教諭が配置されている場合には、栄養教諭が授業に入り指導ができるが、それが難しいため、巡回指導という形をとっている。今後も栄養教諭と協力しながら様々な課題に取り組んでいけると考える。</p>
会長 委員	<p>大学生の食課題等についてはどうか。</p> <p>大学進学に伴い、一人暮らしを始める学生も多く、環境の変化による食生活の乱れも目立っているように感じる。特に男子学生に顕著にみられている。本学では入学して間もない段階で食生活改善推進協議会による食の大切さについての講義をお願いし、実施している。今後も継続していきたい。</p>
会長 連絡会委員	<p>食育推進庁内連絡会の委員からも御意見をいただきたい。</p> <p>給食センターは教育施設であり、学校の社会見学先として利用されている。一般向けは、現在中止しているが、学校からの見学は受け付けており、今後も食育の一環として利用していただきたい。</p>
会長 委員	<p>資料1の「3地域における食育の推進」について御意見はあるか。</p> <p>ヘルシーレシピの提供については、以前から協議を重ねているが、外食をされる際にはヘルシーな料理を選ばれないのが現実。ヘルシーレシピのために、新鮮な野菜の在庫を抱えて、注文がないので翌日には廃棄ということになると全く採算がとれないため、どこの飲食店にも参加してもらえない。また、自由に選べる外食の中であえてヘルシーメニューを選んでもらえない。今後、どのように取り組んでいくべきなのか悩んでいる。</p>
事務局	<p>以前からヘルシーメニューの提供についてはなかなか進んでいない</p>

	<p>現状があり、課題と感じている。現在は、市内の一部の商業施設内で「野菜をたっぷり使用する」というところから始めていただいているが、ヘルシーランチや減塩メニューと表面に出してPRするのではなく、野菜をメニューにたくさん使ってもらうことで、食事を食べる人が自然と野菜摂取できるような形で広がっていければと思っている。</p>
<p>会 長</p>	<p>資料1の「4 食育推進運動の展開」「5 生産者と消費者の交流、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等」について御意見はあるか。</p>
<p>委 員</p>	<p>先程も話があったが、飲食店のヘルシーメニューは健康志向の方には受けが良い。それを定着させるためには、ヘルシーメニューに使用したい食材を市を代表するような特産物にしてはどうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>市内には様々な特産品がある。特産品の生産者を知り、さらに見学や体験の機会を持つことで、より周知することができるのではないか。</p>
<p>会 長</p>	<p>市は食育に関する推進活動運動として、ホームページ、広報、FM、YouTubeなどの様々なツールを活用しているが、実際に市民に必要な情報は届いているか。</p>
<p>委 員</p>	<p>食育に関する情報発信については、例えばスマイルキッズやキッズキッチンのチラシ等は幼児とその保護者が利用する図書館に設置してはどうか。対象者が多く利用する施設を情報提供の場として有効に利用してほしい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>対象となる市民に情報が届くよう、チラシ等は設置場所の検討を行うなど、情報発信の工夫を行っていきたい。</p>
<p>(欠席委員)</p>	<p>また、本日欠席の委員より事前に意見をいただいているので、紹介したい。</p>
<p>(欠席委員)</p>	<p>子どもたちの食べ残しだけでなく、生産から消費までの循環を意識してほしいと思う。特に、旬の食材や地場野菜の恵みを味わう「地産地消」などを通して、食へ感謝することが大切だと思う。子育て世代や子どもたちは、以前より旬の野菜の意識が少なく、分かりづらくなっていると感じる。学校農園などで収穫体験学習を行うことで旬を感じる機会を増やすことが地産地消につながると思う。</p>
<p>(欠席委員)</p>	<p>現在山陽小野田市での実績はないが、フードバンクやまぐちに登録しており、県内のニーズに合わせて、子ども食堂などへ週一回や月一回等状況に応じて青果物を提供している。また、店舗にフードポストを設置している店舗もあり、常温の加工食品を中心に家庭での食品ロスをなくし有効利用する取組をしている。今後連携していくことは可能である。との御意見をいただいている。</p>
<p>会 長</p>	<p>国の第4次食育推進基本計画でも持続可能な食を支える食育の推進ということが重点事項として位置づけられている。生産から食卓までということ意識づけしていくことが重要だと感じている。食育推進庁内連絡会の委員からも御意見をいただきたい。</p>
<p>連絡会委員</p>	<p>食品ロスについては、食べきり協力店の拡大についての周知を行っており、市内では11店舗が登録している。今後、市でも関係課で協議し、フードバンクやまぐちや社会福祉協議会等と連携しながら、食品ロスの</p>

会 委	長 員	<p>減少につながるよう取り組みを進めていきたい。</p> <p>資料1の「6食文化のための活動への支援」について御意見はあるか。コロナの影響で、魚の消費量が減少している。実際に漁業の体験をしてもらうことで、魚や漁業について興味を持ってもらいたいが、昨年度はイベント等も軒並み中止になった。体験の機会を少しでも創出できるよう、今後は感染の状況をみながらイベント等も行っていく予定。</p>
会	長	<p>その他に御意見はあるか。なければ資料2について事務局より説明をお願いしたい。</p>
事 務 局 (欠席委員)		<p>(2) 第2次山陽小野田市食育推進計画中間評価(食育に関する市民意識調査について)</p> <p>(資料2、3 事務局からの説明)</p> <p>事業実績について、抜粋しての説明があった。資料2、3について御意見はあるか。</p> <p>本日、欠席委員より事前に意見をいただいているので、紹介したい。旬の野菜や魚を知っているかというようなことを把握してはどうか。との御意見をいただいている。</p> <p>また、「令和3年度食育に関する市民意識調査」については、次回会議にて調査内容(案)をお示ししたいと考えているので、その際にも御意見をいただきたい。</p>
会 委	長 員	<p>(3) その他</p> <p>その他、御意見はあるか。</p> <p>食品ロスについてだが、飲食店での食べ残しの持ち帰りについて保健所ではどのような指導がなされているのか。</p>
事 務 局		<p>本日、オブザーバーの宇部健康福祉センターが欠席であるため、後日事務局より確認し、個別の回答としたい。</p>
委	員	<p>(了承される)</p> <p>給食についてだが、個人や学年により摂取量の差や体格差があるが提供量は一律なのか。一律であれば食べ残しにつながっているのではないか。</p>
連絡会委員		<p>献立を立てる際には市内の児童・生徒の体格を考慮して1食の栄養価を算出している。また、学校での配膳の際には、個人の摂取できる量に合わせて調整する指導をしている。</p>
事 務 局		<p>6 その他</p> <p>朝食レシピコンテスト、手作り弁当コンテストを7月1日～9月末まで募集する。小・中・高等学校については直接学校に依頼をさせて頂く。幼稚園・保育園についても保護者へのお知らせとして依頼させて頂くが、御出席の委員からの周知や参加もお願いしたい。</p> <p>福祉部部長あいさつの後、閉会した。</p>